

大阪や東京の若者
ナシ園で雑木伐採

加賀市の移住促進研修

加賀市が都市部で暮らし、就農を志す若者層の移住を促すために行う実地研修は4日、同市奥谷町おくのやのナシ園で始まり、大阪、東京の20〜34歳の3人が、雑木の伐採などに取り組んだ。5日まで行う。

大阪府泉佐野市の「おおさか若者就労支援機構」が

仲介し、奥谷梨生産組合が研修生を受け入れた。24〜30日には新たに7人が技術を学ぶ。市は新年度も事業を引き継ぎ、月1回程度、各時期に必要な作業を体験してもらい、組合員が栽培方法を伝える。